



かみとんだ 議会だより

第146号

2014.6

任期満了により改選された町議会は、5月20日に臨時会を開会して議会構成を行い、新たな議会がスタートしました。

議長に 奥田 誠 氏
副議長に 山本 明生 氏 が就任しました。



5月16日国体リハーサル大会開会式の様子

※5月17日から19日にかけて、第36回西日本軟式野球大会（第70回紀の国わかやま国体軟式野球競技リハーサル大会）が上富田スポーツセンターで実施されました。

3月議会で3議員が一般質問を行いました！

木村政子議員：☆エコスタイル事業について

☆防災について（1）避難所について（2）要援護者について

沖田公子議員：☆「定期予防接種」について ☆認知症高齢者の介護支援について

井潤 治議員：☆町政について ☆介護保険について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763

TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は、上富田町のホームページにも掲載しています。また、インターネット配信で議会の様子もご覧いただけます。

木村 政子 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. エコスタイル事業について
2. 防災について

ここが聞きたい!

平成26年3月定例会の一般質問は、日程3日目の3月13日に行われ、3議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。



木村議員

① エコスタイル事業 について

○質問 平成19年度からの実績はどうか。

住民生活課企画員
(単位：トン)

年度	種別	ビン	缶	古紙
19		4.91	1.47	310.59
20		15.44	6.16	319.70
21		13.16	7.61	361.02
22		23.95	5.29	290.41
23		15.08	4.96	313.18
24		18.56	4.83	307.17
25		12.11	3.89	257.73

○質問 処理費用について。

住民生活課企画員 平成25年2月末でビン6,402円、紙類773,190円の処理費用となるが、アルミ缶では

75,200円の収入になり、差引きすると704,392円となります。



○質問 エコスタイル事業の収集拠点は何ヶ所か。

住民生活課企画員 現在は11ヶ所で実施しています。

○質問 今後、戸別収集はどうなるか。エコスタイル事業を拡大する意志はあるか。事業を続ける限りは分別の徹底なり、回収の利点をもっとPRしてはどうか。

町長 上富田町では、埋立の場合、そのまま捨てているが、一度破砕機にかけてからという格好になり、可燃、不燃ともに分別方法が順次変わ

ます。

今後、収集方法は、田辺市の方式に近くなると思うし、広域的に物事を考えるように、方向転換することが必要です。

日本は資源国でないので、外国に頼らず、循環社会の中で生活するといふ方向性が必要との認識をお願いしたい。

一部事務組合と稲成との合意が、どの時点で出来るかによって、相当違ってくるので、今の時点では不明です。

② 防災について

○質問 避難所としての指定は何ヶ所か。運営や研修についての考えはどうか。

総務政策課企画員 町では災害時の非難場所として、地震では43ヶ所、風水害では40ヶ所指定しています。

運営については、職員が行けない場合、町内会や自主防災会になります。

避難所運営の研修については未実施ですが、平成24年度から職員研修の一環で取り組んでいきます。防災士は16名が取得し、内3名が女性です。

県が運営リーダー養成を、26年度から5カ年かけて取り組みます。県の方針では、「町は運営は避難者自身による自治を基本とし、職員やボランティアが基本に徹する」となっています。

○質問 要援護者の定義と人数、名簿の活用、支援策について。

住民生活課企画員 定義は、災害が発生した場合、自ら安全な場所に避難することが困難なため、第三者の支援を必要とされ

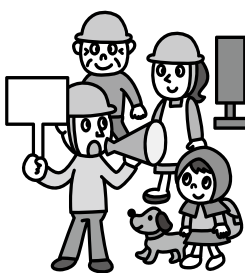
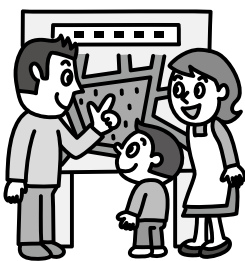
る方です。

1. ひとり暮らしの高齢者 2. 高齢者のみの世帯 3. 身体障害者手帳の交付者など、七項目定められています。

該当者数は2,653名で、要支援者が約1,600名、名簿登録しています。

活用については、本人の同意の上で、個人情報等の取り扱いには慎重かつ厳重に、関係機関との情報の共有が必要と考えます。

今後、支援体制等について、町内会や自主防の理解を得ながら検討してまいります。



沖田 公子 議員

(質問方式 分割方式)

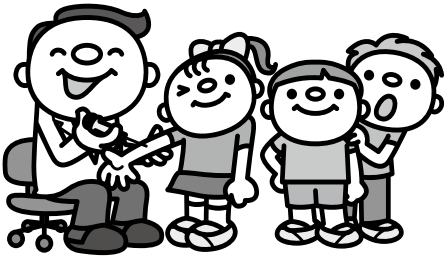
1. 「定期予防接種」について
2. 認知症高齢者の介護支援について



沖田議員

①「定期予防接種」について

○質問 政府は、今年10月から水痘を予防する小児用ワクチンと成人用の肺炎球菌ワクチンを予防接種法に基づいて自治体が行う定期予防接種に加えることに決めました。それぞれの対象人数と実施方法、接種費用などの取り組みをお聞かせくだ



さい。

住民生活課長 水痘は感染力の強いウイルスにより流行し、5才までに約80%の子供さんがかかると言われています。一度罹患すると終生免疫がつかず。疾患を防ぐためにワクチンの接種がある当町では接種費用は無料という方向で検討。人数は大体500人程度。成人用肺炎球菌については、自己負担は若干ですが、自己負担は若干ですが、自己負担は若干ですが、自己負担は若干です。

②認知症高齢者の介護支援について

○質問 厚生労働省の推計では、2012年現在65歳以上の高齢者307.9万人の内、認知症の人は46.2万人の15%。認知症になる可能性がある軽度認知障害の人も400万人います。患者と家族が安心して暮らせる環境整備は緊急の課題です。



① 65歳以上の人数、高齢化率。総世帯に対して65歳以上の単身世帯、65歳以上のみの複数世帯、人数を。

② 認知症対策、介護予防対策で今後力を入れていく事業について。

③ 軽度認知障害の状態をパソコンを使って判定するスクリーニングテストを認知予防事業で行って

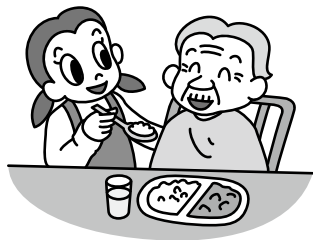
は。

④ 一人でも多くの方が自分自身の健康をチェックし、予防できるように町が行っている健康づくりのための健康増進、介護予防に関する事業の情報を一覧できる様にガイドブックなどにまとめて周知しては。

住民生活課企画員 ①について

①について、総人口は1万5366人、65歳以上人口は3596人で高齢化率は23.4%。(65歳以上を70歳以上でお答えします) 70歳以上の一人ぐらしの人数は365人、世帯数も同じ365世帯。調査時の町の世帯数は6420世帯。その割合は5.69%。70歳以上の高齢者二人世帯は308世帯で人数は616人。

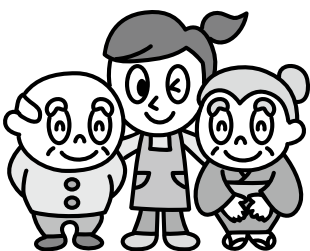
予防日常生活支援総合事業を実施し、要支援認定者や要介護になるリスクの高い二次予防事業対象者に対して通所型の介護予防事業と配食、見守りなどの生活支援サービスを組み合わせた事業を実施してまいります。認知症対策では認知症に対する知識の普及啓発活動、介護予防事業として認知症予防教室の実施、相談業務を中心に取り組みます。認知症サポート養成講座は引き続き実施します。



③については、上富田町が実施している認知症予防教室は和歌山県が和歌山県立医科大学病院と開発したプログラムで行っています。参加者へ

の検査項目をもとに認知機能低下が疑われる方を早期に発見し、医療機関につなげる、その検査方法としてMMSE検査が県内統一として使われています。費用は発生しませんが、費用は発生しない。パソコンを使って判定するスクリーニングテストは面談で行うMMSEより精度が高いという利点が考えられるが、今後の全国的な普及状況や費用などを注視していきたい。

④について、地域包括支援センターの事業をはじめ、保健センター等も行っている健康づくり等もあわせて周知を図ってまいりたいと思っております。



井 潤 治 議 員

(質問方式 一括方式)

1. 町政について
2. 介護保険について



井潤議員

① 町政について (町長の五期目の政治姿勢について)

○質問 去る2月18日の臨時会で五期目をめざす政治姿勢として、明るく豊かなまちづくりの政治理念に基づいて、という言葉を使いました。そこで「幸せな町づくり」とは町と町民の幸せについてどういうイメージ化すれば町民にわかりやすいか、教えていただきたい。どういうことを町民に訴えたいのか、自分の政治信条としてやりたいのか、もう少し具体的に

答え願いたい。
町長 私は基本的には上富田町の総合計画に基づき行政運営を行うことにしています。私は残念ながら私の考える理想的なまちづくりは、ほど遠いと考えています。なぜかといえば町の財政運営は非常に厳しく90%が経常経費でございまして今の町政を維持するのが精いっぱいな状況でございます。当面は、財政の許す範囲で行政運営を行いますので、私の理想の町づくりということには非常に難しいと考えております。町民の負担なしに所得にもなるような政策したいけど残念ながら出来ないことのご理解をいただきたい。お金なしに行政の運営は難しいというご理解を。

○質問 幸せな町づくりの視点には、幸せであるかどうかというまず現状をどう理解しておくかが大切です。子育ての問題です。町長は子どもは郷土の宝だとおっしゃいました。私も同感です。保育所の問題です。上富田町では公立保育所が維持されています。保育料の問題があります。保育料は国基準よりも引き下げていることは承知しています。第2子から皆全額免除の制度があれば、安心して働きに行けると言

えます。さらに子どもの医療費の無料化は中学卒業まで伸びてきています。夫婦共働きしない共同生活が困難な状況が増えていきます。医療費が無料になれば安心して子育てして働くことができ

ます。医療の状況を見てみますと国民健康保険です。その給付費は平成12年にくらべて平成24年は約2倍になっていまして。国保税は調定額で見ると平成12年にに対し、10年間で8万9823円、2万6160円の増です。14年間では7万6744円の増です。この間国庫負担は三位一体の改革で平成16年から対12年度比累計が17億2千2万円も削減されています。給付費が増えて、その財源である国庫負担が削られ、もう一つの財源である国保税の負担が増える仕組みです。国保税が増えるのは国庫負担を削ってきたのが原因です。後期高齢者医療では、均等割りでは、一期待目が3万8101円に対し、四期待目は4万4730円で6629円の負担増と決定しています。介護保険の基準額(保険料)が一期目3万5500円から五期待目は6万7800円。これは一期に対しては

3万2300円の増、四期待目に対しては8300円の住民負担増になります。

教育では、体罰やいじめの問題、平和教育の問題があります。私は広島平和ノートを取り寄せ、質問の後教育長にお渡ししました。

医療施設、紀南病院の問題です。紀南病院は公立病院になりましたが急性期の病院です。病院は買い取りましたが脳神経外科、呼吸器外科は非常勤医の外来診療です。又、急性期病院ですから急性期のリハビリや在宅復帰支援を行う病院ではありません。手術三ヵ月後の退院で独居高齢者らの落ちつき先・・などをどうするかの問題、支援対策が必要です。こういう暮らしにかかわる問題で、もうこれ以上の保険料(税)の値上がりは困難な状況が生まれています。これに対して町財政の状況は平成24年度決算で対12年度比累計で見ると14年間で地方交付税は63億4873万3600円も削られています。国保などの国庫負担も削られています。地方債借入金残高24年度末で124億7051万4000円。返済は毎日約4000万円づつ返済してきたことになりま

す。そこへ消費税率の引き上げです。5%のときの住民一人当たりの負担は7万4840円だったのが、8%では11万9744円になります。こうした中で、町長が一旦掲げた理想です。こうした問題に対して、少しでも安心して、ここに目を据えた財政運営をしていかなきゃいけないんじゃないかと私は思います。私は消費税に反対ですが、現在地方消費税の一部を県から地方消費税交付金として1億1150万円が収入されます。これは上富田町民の支払った消費税です。これを保育所2人目園児からの保育料無償に、又小中の医療費を無料にするのに使って、町長の政治理念でぬくもりのある、温かい政治の実現に頑張ることだと思いますが、どうですか。

町長 ご存知のように国の政策で地方の財政は厳しいんです。私が政治的に失敗したとか、何かの過ちで財政がしんどくなったらそれは潔く同調しますけど、今国そのものも財政がしんどい。地方もしんどい。その原因もあるんです。いずれにしても議論はさせていただいてもいいんですけど国の政策を主張する、とかく言えるものでもない

し、その中で町としていかに工夫するかということであるということのご理解いただきたいと思

② 介護保険について

○質問 安倍内閣は介護保険について既に改正を閣議決定しています。介護の社会化という言葉が介護保険を作ったときに言われたもの。介護を社会的存在として政府が責任を持ち、政治の力で介護をやっていくというもの。今回はそれが非常にひどくなっています。現行の要支援1、2を介護認定からはずす。介護認定3以上を施設介護に受けられるように、自己負担を一割から二割にする。低所得者向け食費、居住費の補助を縮小する。介護保険サービスを外れた申請者は町の事業へ丸投げ。

六期の介護保険見直しは町当局から、どういう意味を持つか。町民にとってはどうか。介護サービスはどうなる。介護保険料はひきあげとなるか。年金暮らしの高齢者の負担はどうなるか、質問しています。

※答弁はありますが、紙幅の都合により省略しています。

町議会議員12名が決まり、新しい議会がスタートしました。

平成26年第2回臨時会

任期満了により改選された上富田町議会の初議会は、5月20日に臨時会が召集され、会期を1日間とし、正・副議長の選挙や各委員会の構成、一部事務組合議会議員の選挙等を行いました。

臨時議会は、最年長の吉田 盛彦 臨時議長のもとで議長選挙が行われ、投票の結果、

奥田 誠 氏 8票
大石 哲雄 氏 1票

となり、奥田 誠 氏が第26代議長に就任しました。

引き続き新議長のもとで副議長選挙の結果、

山本 明生 氏 6票
畑山 豊 氏 4票

となり、山本明生 氏が当選し、副議長に就任しました。



議長に奥田 誠氏
副議長は山本明生氏



奥田 誠 議長



山本明生 副議長

町政発展のため
円滑な議会運営に努力したい

町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。任期満了により、4月22日に告示されました町議会議員選挙にあたりましては、皆様方のご支援をいただき、議会を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、5月20日の初議会におきまして、議員の皆様方のご推挙により、私も議長、副議長の要職に付くことになり、誠に身に余る光栄であり、この重責を痛感しているところです。

さて、地方行財政を取り巻く環境は、地方交付税や国庫負担金・補助金の削減等非常に厳しく、現在、議会行政あげて、積極的に行財政改革に取り組んでいるところです。

また、議会運営についても開かれた議会を目標にインターネット配信や質問方式の3選択制採用により論点をわかりやすくする取組や、災害時における議会の対応を明文化した「上富田町議会災害発生時対応要領」の制定など議会改革を推進しているところです。

第4次総合計画の基本理念である「明るく豊かなまちづくり」に則り、二元代表制としての自覚を持って町民の皆様の声を行財政に反映して参りたいと考えています。

どうか町民の皆様方のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

常任委員会

二つの常任委員会があります。次のページに新しい委員会構成を掲載しています。

特別委員会

専門的に審査・調査を行うために、必要に応じ、議決をして特別委員会も設置をしています。

一部事務組合議会と構成市町

○上大中清掃施設組合議会（構成 田辺市・上富田町）

○富田川治水組合議会（構成 田辺市・白浜町・上富田町）

○富田川衛生施設組合議会（構成 田辺市・白浜町・上富田町）

○田辺市周辺広域市町村圏組合議会（構成 田辺市・みなべ町・白浜町・すさみ町・上富田町）

○公立紀南病院組合議会（構成 田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町）

○後期高齢者医療広域連合議会（構成 県下30市町村）

○紀南環境広域施設組合議会（構成 紀南10市町）



総務教育常任委員会

総務教育常任委員会の所管事項は「会計、庶務、行政、財政、まちづくり、税務、教育（学校教育・生涯学習）などに関する事項や、他の委員会に属さないこと」となっています。



委員長 畑山 豊



委員 松井 孝恵



委員 奥田 誠



副委員長 大石 哲雄



委員 谷端 清



委員 木本 眞次

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会の所管事項は「農林業、建設、上下水道、福祉、健康、保健衛生、保育所に関する事項」などとなっています。



委員長 吉田 盛彦



委員 樫木 正行



委員 山本 明生



副委員長 沖田 公子



委員 九鬼 裕見子



委員 榎本 敏

議会運営委員会

議会運営委員会の所管事項は、定例会や臨時会の会期日程や議案・請願・陳情の取り扱い、その他議長の諮問に関する事項についての審議を行うことになっています。文字どおり議会の運営について協議する委員会です。6名の構成になります。

委員長 大石哲雄 副委員長 沖田公子
委員 畑山 豊 委員 榎本 敏
委員 木本眞次 委員 吉田盛彦

議会広報特別委員会

議会広報特別委員会は、議決により特別委員会を設置し、議会広報について本議会の閉会中も継続して審査・編集・発行をするもので、6名の構成になります。

委員長 榎本 敏 副委員長 松井孝恵
委員 九鬼裕見子 委員 大石哲雄
委員 沖田公子 委員 吉田盛彦

高速道路対策特別委員会

高速道路対策特別委員会は、議決により特別委員会を設置し、高速道路について本議会の閉会中も継続して審査するもので、6名の構成になります。

委員長 畑山 豊 副委員長 沖田公子
委員 谷端 清 委員 榎木正行
委員 山本明生 委員 木本眞次

一部事務組合の 議会議員を選出

一部事務組合とは、2つ以上の町村が団体の事務や機関に委任されている事務の一部を共同で処理するために設ける地方公共団体の組合をいいます。(各組合議会の構成団体は前記のとおりです。)

上大中清掃施設組合

議会議員

松井 孝恵

畑山 豊

榎本 敏

木本 眞次

富田川治水組合

議会議員

谷端 清

榎木 正行

奥田 誠

吉田 盛彦

富田川衛生施設組合

議会議員

九鬼裕見子

山本 明生

大石 哲雄

沖田 公子

田辺周辺広域 市町村圏組合

議会議員

奥田 誠

山本 明生

紀南環境広域施設組合

議会議員

奥田 誠

吉田 盛彦

公立紀南病院組合

議会議員

奥田 誠

大石 哲雄

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員

後期高齢者医療制度に伴い、県下30市町村で構成する広域連合議会議員

奥田 誠

監査委員に 大石 哲雄 氏 (議会選出)

監査委員は地方自治法によって、町長が「財務管理や事業の経営管理について、専門知識や経験のある人からと、議員のうちから」議会の同意を得て選任することになっています。その議会から選出されています。

今回、議会構成が改選されたことに伴い、大石哲雄氏を選任したいとの町長の提案に全会一致で同意しました。

農業委員会委員に 吉田 盛彦 氏

議会構成の改選に伴う農業委員の選出は、産業民生常任委員の中から吉田盛彦氏を選出しました。

体育協会理事に 松井 孝恵 氏 谷端 清 氏

上富田町体育協会の規約により、町議会より理事2名を選出しました。

※今回の議会改選による役職の任期については、いずれも上富田町議会の申し合わせにより、2年間としています。



上富田町議会議場

会期（平成26年3月10日～17日）

8日間

3月 議会

3月定例会に町長から提出された案件は、条例12件、平成25年度一般会計補正予算、平成26年度各会計の当初予算14件、人事案件2件他で、いずれも原案どおり可決しました。

条例

◎上富田町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

（この条例は、保健衛生嘱託医の報酬を改正するもの。全ての予防接種を医療機関に委託したことによる見直し。）

◎町長及び副町長の給与の減額支給に関する条例の全部を改正する条例

（この条例は、町長、副町長の給与の10%減額について、行政改革の一環として平成16年1月1日から行っており、今回、引き続き任期期間中、給与の10%を減額するものです。）

◎職員の再任用に関する条例

（この条例は、定年退職する職員等が公的年金の支給開始年齢に達するまでの間、再任用措置を講ずるよう総務大臣からの要請に基づくもの。）

◎職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

（この条例は、職員の再任用に関する条例を制定するにあたり、本条例に規定している定年退職者等の再任用に関する規定を削除し、条項の整理を行うもの。）

◎上富田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

（この条例は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に規定されている障害福祉サービスのうち、共同生活介護を共同生活援助に一元化することに伴う適用条項の改正に合わせて、本条例の一部を改正するもの。）

◎上富田町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例

（この条例は、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、団員の処遇改善のため、活動の実態に応じた適切な報酬手当等の支給について、国及び地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務付けられており、この趣旨を踏まえ、退職報奨金の改定を行うもの。）

◎上富田町介護保険条例の一部を改正する条例

◎上富田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

（以上2議案については、納税環境整備に関する観点から、地方税法及び税条例における延滞金の特例の見直しに合わせて、本条例の一部を改正するもの。）

◎上富田町老人医療費の支給に関する条例の全部を改正する条例

（この条例は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に係る一部負担金等の段階的是正に伴い、本条例の全部改正を行うもの。）

◎上富田町企業用地造成事業基金条例

（この条例は、企業用地造成事業に伴う周辺の環境整備及び防災対策に要する経費の財源とするために基金条例を制定するもの。）

◎上富田町社会教育委員の設置等に関する条例の一部を改正する条例

◎上富田町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例

（以上2議案については、第3次地域主権一括法の改正により、市町村は、各省令で定めている国の基準を参酌して平成26年3月31日までに条例で定めるもの。）

人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意しました。 上富田町市ノ瀬 三 栖 隆 久 氏 (再任)

◎副町長の選任について

3月末で任期満了に伴う副町長の選任については、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意しました。

上富田町生馬 山 本 敏 章 氏 (新任)



山本副町長

予算関係

<平成25年度一般会計補正予算第4号>…今回1億7,047万円を減額し、総額を64億2,229万9千円としました。 補正予算の主な事業内容等は、次のとおりです。

◎総務費

・総務管理費防災対策費委託料……………△2,396万4千円
(防災行政無線デジタル化整備工事基本設計業務委託料、防災行政無線デジタル化整備工事設計監理業務委託料)

◎民生費

・社会福祉費社会福祉総務費繰出金……………282万円
(特別会計介護保険繰出金)
・衛生費保健衛生費予防費委託料……………△440万7千円
(各種検診及び予防接種委託料)
・衛生費清掃費清掃総務費工事請負費……………△341万3千円
(一般廃棄物最終処分場ごみ計量器改修工事請負費)

◎土木費

・土木費道路橋梁費高速道路推進費委託料・工事請負費・補償、補填及び賠償金……………△1億1,000万円
(大内谷残土処分場整備事業費)
・災害復旧費公共土木施設災害復旧費……………△1,924万4千円
(公共土木施設災害復旧費、農林水産施設災害復旧費)

◎公債費

・公債費利子償還金、利子及び割引料……………△1,042万8千円
(長期債償還利子)

<平成26年度当初予算>

平成26年度の一般会計・特別会計予算額

会 計 名		予 算 額	
一 般 会 計		59億8,000万円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	21億7,351万1千円	
	介 護 保 険	12億4,610万8千円	
	後 期 高 齢 者 医 療	2億6,101万3千円	
	診 療 所 事 業	4,311万2千円	
	宅 地 造 成 事 業	2億8,021万9千円	
	宅 地 取 得 資 金 貸 付 事 業	204万4千円	
	住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業	873万1千円	
	奨 学 事 業	852万7千円	
	水 道 事 業	収 益 的 事 業	4億8,560万円
		資 本 的 事 業	3億4,792万7千円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,158万8千円	
	公 共 下 水 道 事 業	3億214万6千円	
	朝 来 財 産 区	483万3千円	
	西 牟 婁 郡 公 平 委 員 会	133万4千円	
計		113億2,669万3千円	

平成26年度の一般会計当初予算は59億8,000万円で、対前年度と比較すると、3億2,500万円（5.7%）の増となっています。

引き続き事務事業の見直しなどの行政改革を進めていますが、扶助費（医療費等）や一部事務組合への負担金が年々増加しており、また昨年度までは補正予算にて計上していた経費を、1年間を見通した決算に近い額で計上する編成方針により、平成24年度の決算額である58億8,000万円に相似した予算額となり、減債基金等を若干取り崩したものとなっています。

尚、増額の主なものとしては、高速道路推進費や朝来第一・第二保育所の統合に向けた用地購入費を措置したことによるものです。

（減債基金・・・地方公共団体（役場）の借金を返す計画のために設けた基金）

平成26年度 一般会計予算の主な歳出

総務費

- ・総務管理費一般管理費積立金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億9,103万円
（財政調整基金積立金）
- ・総務管理費企画費委託料・工事請負費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,400万円
（一瀬王子おもてなしトイレ整備事業）
- ・選挙費町議会議員選挙・県知事選挙・市ノ瀬財産区議会議員選挙・県議会議員選挙・・・・・・ 2,185万円

民生費

- ・社会福祉費繰出金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5億5,948万9千円
（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療への繰出金）

- ・社会福祉費社会・児童福祉医療費扶助費…………… 1億863万円
(乳幼児・ひとり親家庭・重度心身障害児(者)医療費)
- ・社会福祉費障害福祉費扶助費…………… 3億6,000万円
(障害福祉サービス費)
- ・社会福祉費臨時福祉給付金給付事業…………… 5,805万円
(低所得対策として消費税率が8%の段階で、暫定的・臨時的に実施するもの。給付金1万円に老齢基礎年金の受給者等については、一人につき5千円を加算する)
- ・児童福祉費保育所建設事業費…………… 1億311万4千円
(設計、造成工事、用地購入)
- ・児童福祉費子育て世帯臨時特例給付金給付事業…………… 2,192万9千円
(消費税引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和する為の臨時的な給付措置として実施。児童手当の上乗せではなく、臨時福祉給付金と類似の給付金として、対象児童1人につき1万円を支給。)

衛生費

- ・負担金、補助及び交付金…………… 2億7,708万5千円
(公立紀南病院組合、上大中清掃施設組合、富田川衛生施設組合への負担金)
- ・保健衛生費予防費委託料…………… 6,569万9千円
(各種検診・予防接種委託料)

農林水産業費

- ・農業費農業振興費負担金、補助及び交付金…………… 1,200万円
(青年就農給付金：農業技術及び経営ノウハウの習得のための研修に専念する就農希望者を支援)

土木費

- ・道路橋梁費高速道路推進費工事請負費…………… 8,000万円
(産業振興施設建設工事：仮称口熊野交流館建設)
- ・道路橋梁費高速道路推進費工事請負費…………… 4億250万円
(大内谷残土処分場工事)
- ・河川費河川改良工事請負費…………… 3,700万円
(富田川土砂浚渫工事)

教育費

- ・中学校費教育振興費委託料…………… 840万円
(海外研修業務委託料)
- ・社会教育費放課後児童対策費委託料…………… 1,722万2千円
(放課後児童対策業務委託料)
- ・保健体育費保健体育総務費負担金、補助及び交付金…………… 2,409万7千円
(紀の国わかやま国体上富田実行委員会補助金)
- ・保健体育費体育施設管理費委託料…………… 2,918万6千円
(体育施設指定管理委託料)

公債費

- ・公債費元金・利子…………… 6億7,449万6千円
(長期債償還金及び利子)



災害発生時対応訓練(図上訓練)の様子

※3月6日、和歌山大学防災研究教育センター長の此松教授を講師にお招きし、災害発生時対応図上訓練(クロスロード)を実施しました。議会では、昨年12月に「上富田町議会災害発生時対応要領」を制定し、今回その実効性の確保を図るため訓練を実施しました。



編集後記

「議会だより」第146号をお届けします。

今回は、3月定例会で審議した平成25年度一般会計補正予算と、平成26年度一般会計予算の主な内容他3議員の一般質問を掲載していますので、ご覧ください。

今回、これまでの委員による編集はこれで最後となります。つきましては、これまでのご

指導、ご協力に心から感謝申し上げます。

今後も、新しい議会広報特別委員が、町民の皆様にかかれた議会を目指し、「わかりやすく、読みやすい」紙面作りに取り組んで参りますので、ご意見、ご感想をどしどしお寄せ下さい。

今後ともよろしくお願致します。

